

世田谷の元気な産業が見えてくる

せたがや エコノミックス

TAKE FREE

No.49
SETAGAYA ECONOmix

平成30年(2018年)12月15日

特集

循環型社会の構築に貢献する

株式会社エコ・エイト



TOPICS

第52回世田谷区産業表彰式を開催しました
申告書作成会場開設のお知らせ
「働き方改革関連法」セミナーのご案内
「新春経済講演会」のご案内



多摩川や地元商店街などボランティアのゴミ拾い活動でも社会貢献。表紙の富士山清掃は年1回行われる社内行事で、今年で22回を迎え、社長も含めた多くの社員が参加するという
いずれも通常の業務内容を活かし、効率良く大量のゴミを回収している

世田谷
いいとこ、
見つけた

循環型社会の構築に貢献する 株式会社エコ・エイト

様々な廃棄物を 24時間体制で回収

近年よく聞くようになった言葉のひとつ「循環型社会」。具体的には、廃棄物を「減らす」「再使用する」「再生利用する」ことによって天然資源の消費を抑えようとする考え方で、これを推進すべく日本では平成12年に循環型社会形成推進基本法が制定されています。そんな循環型社会構築の実現に向け、ビジネスを通じて寄与しているのが株式会社エコ・エイト。産業廃棄物の収集・処理・リサイクルまでをトータルで対応できる企業で、東京23区のおよそ半分のエリアと調布・府中の事業系廃棄物を収集して資源化しています。



代表取締役社長 須永八十八さん

大きな特徴は事業所から出る一般的な不燃物・可燃物はもちろん、医療廃棄物や特定有害産業廃棄物まで多種類の廃棄物を回収できることです。廃棄物の収集や運搬には、種類ごとに行政の許可を得なければならないのですが、数多くの許可を取得しているエコ・エイトならワンストップで回収が可能。しかも、夜間も活動する人が増えた現代社会に対応して24時間の収集体制を整えています。



広範囲の廃棄物回収を遂行するため約150台の車両を所有(第5駐車場)

ゴミから素材を生み出す 一次加工に注力

また、回収後の処理・加工能力もエコ・エイトのストロングポイント。なかでも得意とする不燃物はすべての廃棄物を自社で処理していると言い、大田区京浜島に建てられたリサイクルセンターは24時間稼働。1日約400トンの廃棄物中間処理能力を持ち、その約90%をサーマル(熱)やマテリアル(素材)としてリサイクルできるといいます。さらに、ペットボトル・スチール缶・アルミ缶のリサイクルを専門とするマテリアルセンターや、発泡スチロールの溶融・資源化などを行うクリアセンターといった施設も稼働しており、単なる廃棄物処理にとどまらない一次加工を行っています。

「将来的には100%のリサイクルを可能にして、ゼロエミッション(廃棄物を無くす・すべてを再利用するという仕組み)にするのが目標です」という須永社長をはじめ、手作業でゴミを分別する作業員や深夜から回収に走るドライバーなど、エコ・エイト約200名のスタッフが循環型社会の構築に邁進しています。



高品質のマテリアルにリサイクルするため手作業による精度の高い分別を実施



創業から長年にわたり本社は世田谷区内小中学校のゴミ回収も担当している

株式会社エコ・エイト
千歳台3-16-15
TEL:03-3483-8081
http://www.eco-eight.co.jp